

日時： 2014 年 10 月 30 日 (水) 13:30-16:30

場所： 小ホール

## フォーカストセッション

### 薬づくりの新しい R&D モデル - その2～行動に向けて

### *New R&D Models for Drug Discovery-2~Call for Action*

世話人：神沼 二眞 (ICA)、多田 幸雄 (東京大学創薬オープンイノベーションセンター)、堀内 正 (慶応大学医学部)、坂田 恒昭 (塩野義製薬、大阪大学)、田中 博 (東京医科歯科大学)、中井 謙太 (東京大学医科学研究所)

#### 開催趣旨：

前日に続くこのセッションでは、ゲノム科学と ICT の進歩によって急速にデジタル化、精密化が進んでいる生物医学を基盤とした近未来の薬づくりのイメージを提示し、参加者を含めてその実現について3部にかけて議論する。その第1部は、「薬づくりへの ICT の活用を加速するためのパートナーリング実験」の概要説明である。第2部は、リノベーションを進めるための新しい専門家のイメージを明確にすることである。第3部では、現在の国民健康保険制度の枠外で産生されている個人の健康医療データ (Real World Data) を含む、多様な健康医療データ (Big Data) を活用することによって、精密化、個別化、予防的、先制的、参加型をめざす次世代医療 (すなわち p-Medicine) を視野に入れた新しい薬づくりの可能性を議論する。このセッションは、意見交換と人的交流を目的としているので、気軽に参加されたい。

#### プログラム：

13:30-13:40 挨拶と提言：

薬づくりへの ICT の活用を加速するためのパートナーリング実験

13:40-14:20 「薬づくりで必要とされる新しい Bioinformatician」、

白井 宏樹 (アステラス製薬株式会社)

14:20-15:00 「糖尿病性腎症の三次予防と個別医療のための NMR メタボロミクス」、  
藤原正子 (東北大学)

-休憩-

15:15-16:00 “Delivering novel and targeted medicines from human genetics to Patients “ Nadeem Sarwar (米国エーザイ)

16:00-16:30 討議：新しい薬づくりと新しい専門家

#### 参考情報：

・「薬づくりの新しい R&D モデルを探る」連続セミナーの資料：

<http://join-ica.org/ws/14rdseminar.html>

・各講演に関する個別資料は、サイト <http://join-ica.org/ws/141030.html> に掲載する。